



「刺繍サービス始動」

商品にさらなる付加価値を

実はオーティーエスでは 12 年程前から一部のお客様に向けてオリジナルの刺繍サービスを提供してきました。
昨今の刺繍サービスへの需要の高まりに応えるべく、このサービスに関わる機材と人員を大幅に強化いたしました。
今月の OpenTalkS ではオーティーエスの刺繍サービスの特集いたします。

The OpenTalkS 2023 Mar Vol.158

オーティーエスが贈るファッションアパレル物流通信

最新の刺繍ミシンを導入

OTS 葛西センター刺繍事業

ブラザー社業務用刺繍ミシンのフラグシップ機である【PR1055X】を導入。ユニクロのオンデマンド刺繍サービス「マイユニクロ」も同マシンを使用しており、品質・性能については十分な実績がある。一度に 10 色の糸を取り付けることができるため、色表現に優れた高品質な刺繍が倉庫内で可能となる。また糸交換の頻度を大幅に減らすことができるため時間のロスを最小限に抑えることができる。

さらに自動針穴糸通しや枠検知センサーを搭載しているだけでなく、本機内にカメラも内蔵しているため、刺繍位置決めや縫い上がりイメージを確認できる。そのため熟練者でなくても刺繍作業が可能となり従来よりも作業コストを抑えたサービスの提供が可能となる。

また本機はシューズやバッグ、帽子への刺繍にも対応しており、将来的にはアパレル以外へのサービス展開も想定している。

- 糸を交換することで 10 色以上の表現も可能となる。
- 刺繍の品質は非常に高くグラデーションの表現も可能。(刺繍部アップ)
- 3.4. ブラザー社製 PR1055X 作業場には色とりどりの刺繍糸が揃っている



導入の経緯と今後の課題

本格的なサービス展開に向けて
オーティーエスの刺繍サービスは、商品をお預かりしているお客様の要望で商品に名入れやロゴ入れをするところから始まった。刺繍マシンもお客様からお預かりしているものであり、あくまで物流加工の一工程として刺繍を行ってきた。オーティーエスはこれまで修理や撮影といったファクション物流に付随するサービスを積極的に展開してきたが、ここに刺繍を新たに加え、お客様にさらなる付加価値を提供したいというのが事業化を進めた経緯となる。

しかし実際の事業化にはまだまだ越えなければいけないハードルがある。これまででは一つのお客様の特定の商品への刺繍業務であったため、一定の教育で品質を担保することができたが、事業化が進めば顧客数も増え様々な商品への刺繍を行う必要が出てくる。素材によって刺繍の風合いが変わり、また同一素材であっても生地厚さや色の違いで仕上がりが変わってきてしまうため、テスト刺繍のできない一点物への刺繍対応をどうするか等、検討すべき点はまだまだ多い。

現在は担当スタッフの教育に力を入れている。少しでも多くの経験値を得るために、刺繍商品の社内販売を始めており、好評を得ている。社内販売については経験値と売上げを得るという目的もあるが、「真の狙いは広く社内にこの事業を知ってもらおうという点にある」と所轄センターの沓掛センター長は語る。

ブランド・ビジネス・サポーターとして刺繍事業の目指すところ

現在でもアパレルへの名入れや文字入れ、ワンポイントの絵柄の刺繍であれば、すぐにでも対応できる体制となっている。

オーティーエスに商品を保管しているお客様であれば倉庫内刺繍サービスを利用することで、外部の刺繍業者を利用するときよりもリードタイムの短縮や、輸送料の削減といったメリットを受けることができる。

将来的には toB だけでなく、toC に対するオンデマンド刺繍にまで幅を広げられればと考えている。

まだスタートしたばかりの発展途上の事業ではあるが、お客様の商品の価値を直接的に高めることのできるサービスとして、積極的に社内リソースを投入していく。

◆刺繍に関するお問い合わせはこちら◆

☎ 03-5605-5515

オーティーエス マーケティング部

